



# 醸芳っ子通信

桑折町立醸芳小学校だより  
令和6年11月26日 No.13  
文責 校長 花輪 忠康

【教育目標】よく考えて学ぶ子ども(知) 親切で思いやりのある子ども(徳) 健康で明るい子ども(体)  
合言葉「こつこつ とことん あきらめない」(継続・徹底・根気)

## 6年修学旅行～東京・上野・浅草見学～

11月7日(木)8日(金)は、6年生の修学旅行でした。「見聞を広め、自然や文化などに親しみ、よりよい人間関係を築く集団生活や公衆道徳の体験を積むこと」が修学旅行のねらいです。

1日目は、国会議事堂、東京スカイツリー、すみだ水族館の見学。2日目は、浅草寺・仲見世、上野動物園、国立科学博物館の見学でした。両日とも快晴で、見学や散策には最高の日和でした。事故や怪我がなく、思い出に残る修学旅行ができたのも、旅行の計画を立ててくださった先生方、そして、旅行の準備や健康管理をしてくださった保護者様のおかげです。ありがとうございました。

なお、詳しい活動の様子は、「[醸芳小学校ホームページ](#)」をご覧ください。



## 2年こむこむ館見学～切符を買って電車でGO!～

2年生は、生活科の学習で福島市「こむこむ館」に行きました。晴天の中、桑折駅から福島駅までの電車の旅。わくわくした気持ちで電車に乗った子もいたようです。

福島駅に着くと、まずは帰りの電車の切符を買いました。自分で初めて切符を買うことに挑戦する子も多かったはず。券売機に戸惑いながらも、しっかり切符を買うことができました。

こむこむ館では、いろいろな科学のゲームや展示があり、子どもたちも夢中になって遊ぶ様子が見られました。お昼には、グループになって持参したお弁当をおいしく食べる様子も見られました。

午後は、図書館で読書タイム。様々な絵本を見て楽しみました。是非とも家族で福島駅に行って、こむこむ館を訪れてみてくださいね。



## 読み聞かせの時間（1・2年）

11月22日（金）1・2年生の読み聞かせの時間がありました。

「読み聞かせぶろっこりー」の紺野さん、佐藤さん、国文さん、亀岡さん、渡邊さんから楽しいお話を紹介いただきました。

2年生には「十二支のはじまり」「なんにもせんにん」「おまえうまそうだな」「なまえのないねこ」の絵本。1年生には「しゅー」「橋の上のおおかみ」「あぶくたった」「にんじん ごぼう だいこん」「大きなかぶ」の絵本の読み聞かせをしていただきました。

子どもたちは絵本が大好き。みんな静かに聞き、物語の内容を楽しむことができました。



## 放射線教育（3・4年）



3・4年生は、鳥取大学研究推進機構研究基盤センターの北実（きたまこと）先生においていただき、放射線教育を行いました。

自然放射線は、地面・空気・食べ物からも出ており、温泉などの健康治療にも役立ちます。しかし、生活の中では、放射線の存在は目に見えません。そこで「霧箱」を使って、放射線を可視化してみました。「霧箱」とは、黒いプラスチック容器に「線源」（ランタンの芯など）を入れ、アルコールを気化して充満させ、ドライアイスで冷やした装置です。ライトで照らすと、放射線が飛び出してくる様子が見られ、子どもたちも驚いて見ていました。放射線は過度に恐れることはありませんが、放射線量が多いところに長時間いることは避けたいものです。正しい知識をもち、安全・安心な生活を送りたいものです。

## 西根堰見学（4年）

4年生は、社会科の学習で西根堰を見学しました。西根堰は、摺上川の水を伊達地区の田畑に引くため、江戸時代に古河善兵衛と佐藤新右衛門によって開鑿された水路です。当時の西根堰の様子が分かる「鼻毛の隧道」を見たり、西根神社で先人の功績を記す記念碑を見て回ったりしました。途中、西根堰は川と交差する場所がありますが、サイフォン（落差を利用して水を吹き上げる原理）を利用して流れが中断しないよう回避するなど、先人の知恵が窺える場所もありました。先人の知恵と業績のおかげで、私たちの生活が成り立っていることに感謝です。



## 食育コース（4年）～りんごジャム作り～



11月18日（月）、JAふくしま未来の皆さんにお越しいただき、食育授業を行いました。はじめに、農業の話や旬の野菜・果物の話をいただき、りんごジャムの作り方をJAふくしま未来女性部の皆さんに教えていただきました。

まずは、りんごの皮をむいてスライスし、2cm程度に角切りします。そして、鍋に刻んだりんごとグラニュー糖、レモン汁をいれ、混ぜながら煮込みます。りんごの形がとけて、黄金色にやわらかくなるまでかき混ぜながら煮込みます。冷めたらりんごジャムの完成です。

子どもたちは、クラッカーにりんごジャムをのせて食べました。りんごの香りと甘みのあるおいしいジャム。子どもたちの笑顔も見られました。JAふくしま未来の皆さん、ありがとうございました。